

環境にやさしい 北九州港の「港湾力」

環境に配慮した物流のご紹介



北九州港を利用したモーダルシフト



北九州貨物ターミナル駅

◎全国主要都市への所要時間

- 札幌(約43時間)
- 東京(約21時間)
- 名古屋(約14時間)
- 大阪(約10時間)

- 釜山へ
- 仁川へ
- 上海へ

- フェリー・RORO船輸送網
- フェリーさんふらわあ(小倉) [1日1便] 7時間
 - 阪九フェリー(新門司) [1日1便] 12時間
 - 名門大洋フェリー(新門司) [1日2便] 12時間
 - 阪九フェリー(新門司) [1日1便] 12時間
 - オーシャン東九フェリー(新門司) [1日1便] 32時間
 - KMR(川崎近海汽船・三菱化学物流):RORO船(小倉) [週3便] 34時間
 - トヨフジ海運・フジトランス コーポレーション :RORO船(新門司) [週3~4便] 翌日~翌々日着

フェリー・RORO船輸送網

北九州市モーダルシフト推進補助制度

北九州市では、平成18年度より「モーダルシフト推進補助制度」を実施しています。この制度は、北九州港を利用したモーダルシフトに対して補助金を交付することで、運輸・物流部門でのCO₂削減を推進し、環境モデル都市・北九州市を広くPRするとともに、北九州港の利用促進を図るものです。

- 平成21年度の成果
 - ①CO₂削減量前年比240%増加(約5,000t-CO₂/年→約12,000t-CO₂/年)
 - ②フェリーを活用した輸送の申請件数が増加(8件→22件)
 - ③大手飲料メーカー等の大規模なモーダルシフトが実現
 - ④自動車部品や農産物のモーダルシフトが増加

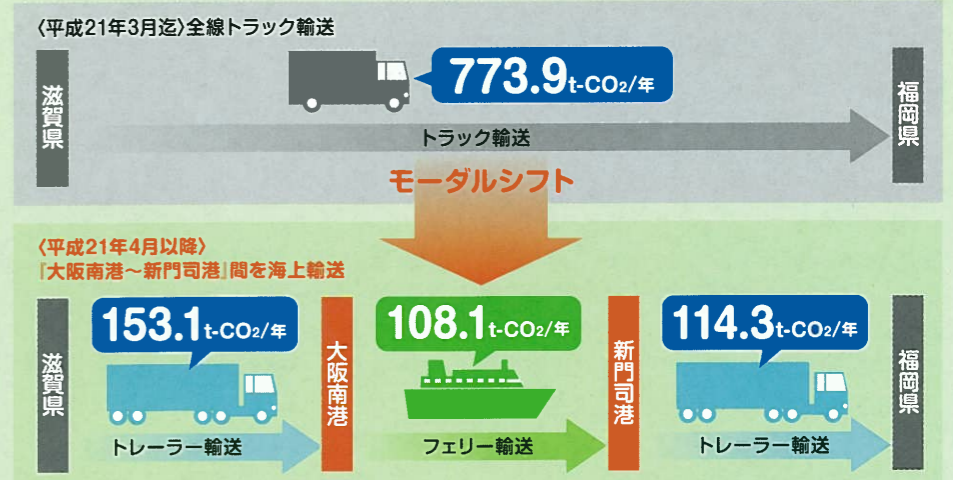
モーダルシフトとは、トラックや航空機などの輸送手段から鉄道や船舶などの輸送手段に切り替えることをいいます。北九州市では、西日本屈指の取扱量を誇るコンテナターミナルをはじめ、フェリー(関西・関東・四国方面)、RORO船(中部・北関東)、鉄道(北九州貨物ターミナル駅)などの充実した物流インフラが利用できます。

ケース 1 国内フェリー利用

モーダルシフトした取扱貨物と導入時期

- 取扱貨物:飲料
- 導入時期:平成21年4月

「滋賀～福岡」間をトラック輸送していた「飲料製品」の輸送を、「大阪南港～新門司港」フェリー航路を活用した海上輸送にモーダルシフトするとともに、輸送車両を15tトラックから20tトレーラーへと大型化して運行回数を減少させることにより、環境負荷を低減した輸送を実践されています。



※平成20年グリーン物流パートナーシップ普及事業の推進決定事業

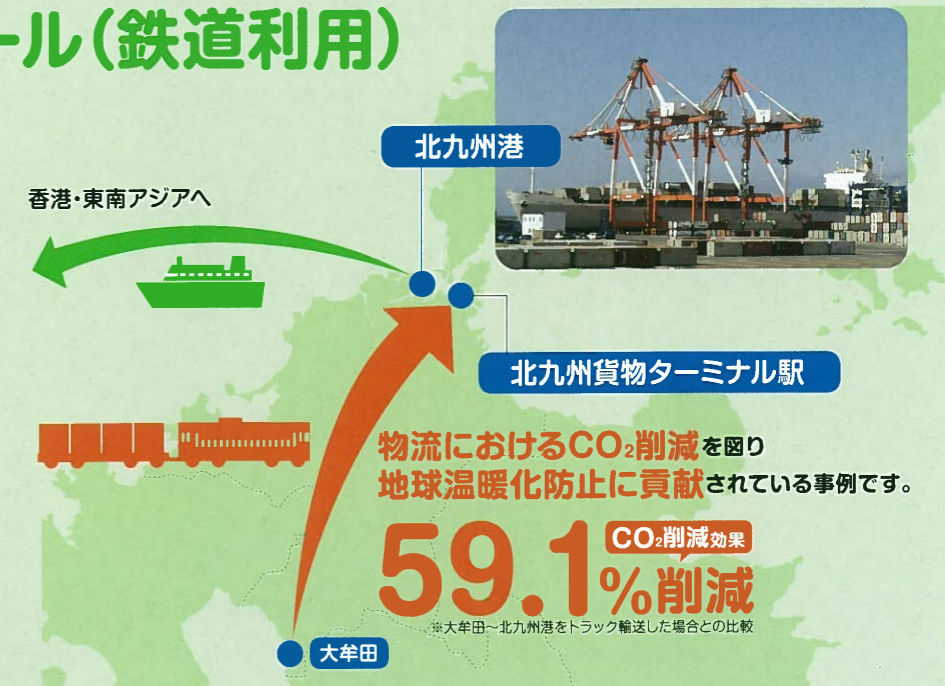
CO₂削減量 773.9-375.5=398.4t-CO₂/年 **51.5%削減** (CO₂削減効果)

ケース 2 シー&レール(鉄道利用)

北九州市には鉄道貨物輸送拠点である「北九州貨物ターミナル駅」があります。鉄道輸送は、CO₂排出量がトラックの約1/7と少なく環境にやさしい輸送手段です。北九州貨物ターミナル駅は、①24時間稼働 ②着発線荷役方式(コンテナを本線上の列車から直接荷卸しすることにより荷役時間の短縮が実現) ③海上コンテナに対応」という3つの特徴に加え、全国129のコンテナ取扱駅との豊富なダイヤにより、国内貨物輸送がネットワーク化を実現しています。

概要(事例)

福岡県大牟田市から香港・東南アジアへの化学品の輸送において、大牟田～北九州間は鉄道、北九州～香港・東南アジアは海運を利用した輸送【シー&レール輸送】が実施されています。



ケース 3 国際RORO船利用(釜山・仁川・上海など)

使い捨ての梱包資材を大幅に削減した超精密機械装置の国際一貫輸送

北九州港を拠点に、使い捨ての梱包資材を大幅に削減した超精密機器の画期的な海外向け一貫輸送サービスが、環境にやさしく精密機械装置メーカーの高い評価を受け、実績を上げています。また、ROROタイプの精密機器専用船としたことで、革新的輸送システム(シームレス物流)を構築し、リードタイムの短縮と共に、トータルコストの大幅な削減を実現しています。

【参考】平成22年1月～7月 16,180トン(全国シェア 20.1%) ※全国2位の取扱実績を誇る。
 「出典:財務省貿易統計」



北九州市×風力発電産業 ＝『グリーンエネルギーポートひびき』

北九州市は、大型・洋上化する風力発電産業の集積最適地として響灘地区をご提案します。



① 充実した港湾インフラ

風車の大型・洋上化が急速に進むことに伴って海上輸送は不可欠になっています。響灘地区は、こうしたあらゆる輸送モードに対応する充実した港湾インフラで、風力発電産業を支えます。

② 広大な産業用地

響灘地区は、港湾インフラに隣接する広大な産業用地を擁し、風力発電産業の全てを集積することが可能です。同地区では市の産業用地の他に、民間地権者が一体となって調和のとれた開発を進めることを目的とした「響灘地区開発推進協議会」(新日本製鐵(株)、旭硝子(株)、九州工業(株)、電源開発(株)、ひびき灘開発(株)、北九州市)を設立し、響灘地区のポテンシャルを活かしたPR活動や企業立地活動等を進めています。

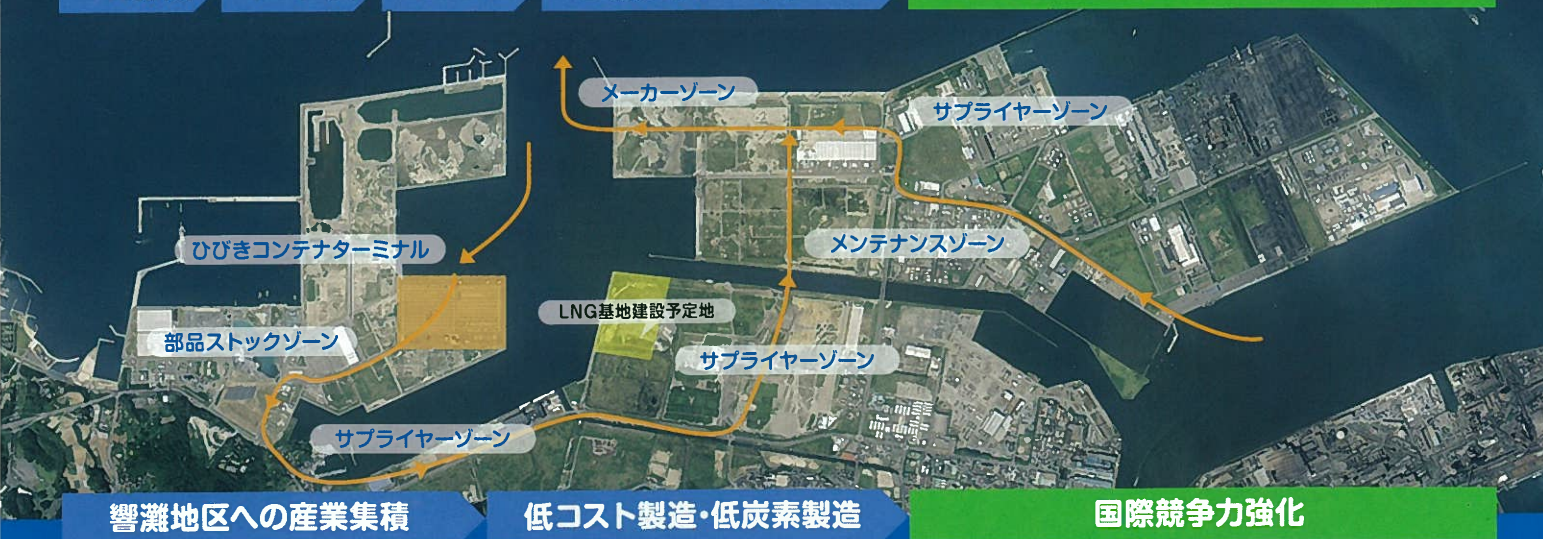
③ 地理的優位性

欧州・北米中心だった風車マーケットは、急速に拡大しグローバル化しています。響灘地区は巨大マーケットと化したアジア地域への地理的優位性をもっています。



響灘地区への風力発電産業の集積＝『国際競争力強化』

部品輸入 → 風車製造 → 風車輸出 → 洋上風力発電の実証実験 → 響灘地区のみで風力発電産業の全てを完結



◎北九州港のご相談・モーダルシフト
北九州市港湾空港局港営部物流振興課
 〒801-8555北九州市門司区西海岸1-2-7
 TEL.093-321-5941 FAX.093-321-5936
 URL:<http://www.kitaqport.or.jp>

◎臨海部への企業立地・グリーンエネルギーポートひびき
北九州市港湾空港局港営部立地促進課
 〒803-8501北九州市小倉北区城内1-1
 TEL.093-582-2994 FAX.093-582-2998
 URL:http://www.kitaqport.or.jp/kowan_j/bunjo/index.html

北九州貨物ターミナル駅
 日本貨物鉄道株式会社
 北九州営業支店
 〒800-0057北九州市門司区大里新町11-3
 TEL.093-372-3147

海から、陸へ。空へ。
PORT OF KITAKYUSHU
 KITAKYUSHU SEAPORT & AIRPORT BUREAU
 北九州市印刷物登録番号 第1017013C(10.09)